

瀬 渡 船

を 利 用 さ れ る 皆 様 へ

磯場での乗降時に、釣り人が落水して死亡する事故が起きています。

‘もしも’のために、事故を防ぎ、被害を軽くする備えを！

釣り人の皆さん。‘もしも’の備えを、できることから。

- 釣りの場所に合ったライフジャケットを選んで(※)、股ひもやチャックを締め、正しく身に着けましょう。

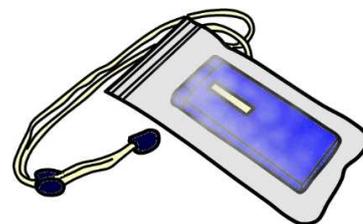
※「日本小型船舶検査機構性能鑑定適合品レジャー用ライフジャケット（固型式）の使用環境ガイドライン」によれば、磯釣りにおいては7.5 kg以上の浮力が推奨されており、併せて、外洋に面した沖磯など、潮流が早く、波の荒い磯場がメインとなる場合は、11.7 kg以上の浮力を持つライフジャケットの使用も推奨されています。（詳細はQRコードから確認できます）



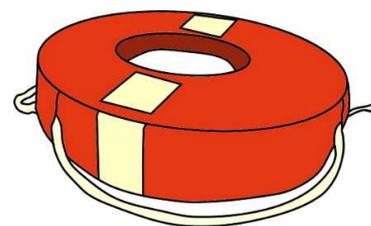
- 磯場での乗降時には、船の揺れに備え、できるだけ両手を空けて、ハンドレールを持ちましょう。



- 風や波などで、釣りができない状況になったら、携帯電話などで早めに船長に伝えましょう。



- 落水してしまったときは、なるべく早く、浮環にしっかりとつかまり、浮力を確保しましょう。



船長や業務主任者の指示に従って、釣りを楽しみましょう。
安全のための備えを、ご自身ができる範囲で行ってください。